

論 文

大陸式決算・締切り法の原点…………… 茂木虎雄

——一七世紀末葉、イギリス

——東インド会社の実務によせて——

協業の経済学的考察…………… 山本 二三丸

資本の過剰生産と恐慌の現実性（上）…………… 小松 善雄

——『六一—六三年草稿』

——「資本と利潤」の章第七節を中心に——

研究ノート

インドにおける開発政策と外国資本…………… 戸崎 純

——一九七〇年代以降の展開——

論 文

家の概念…………… 三戸 公

——家の連続・非連続をめぐって——

生産力という概念の意味…………… 大木啓次

観念論と唯物論（続・完）…………… 井上 周八

——影山秀夫氏のチュチエ思想批判について——

価値概念について（一）…………… 山本 二三丸

——その内容と意義——

分権化にかんする企業体制比較…………… 成田 幸範

資本の過剰生産と恐慌の現実性（下）…………… 小松 善雄

——『六一—六三年草稿』「資本と利潤」の章第七節を中心に——

研究ノート

韓国経済の発展における財閥の位置と役割…郭 洋 春

——国家資本と財閥の支配・隷属関係を中心として——